

9 題材指導計画

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準、指導・援助
<p>① 高齢者が生活の中で求めているもの</p>	<p>高齢者の生活を知る中で、高齢者は人との関わりを大切にしていることに気づき、高齢者のことをもっと詳しく知り、温かい関わりをもととすることができる。</p>	<p>○身の回り的高齢者について考える。 ・一緒に住んでいないから、よくわからない。 ・祖母に久しぶりに会えると、少しずつできないことが増えているように思う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>高齢者の人はどのような生活を送っているのだろうか。</p> </div> <p>○高齢者(75歳以上)の方の生活を知る。 (Aさん) 畑仕事→町内のウォーキング→体操→孫の世話→畑仕事 (Bさん) モーニング→家事→TV→夕食作り→就寝 (Cさん) 散歩→歴史の勉強会→夕食 (Dさん) TV→畑仕事→TV, 昼寝→畑仕事→就寝</p> <p>○高齢者の生活を知ってわかったことを交流する。 ・女性の方がまわりの人と関わる機会が多い。趣味も多い。 ・男性は、あまり話をしていない。健康のために、体操、ウォーキングをしている人が多い。 ・デイサービスを利用して人との関わりを大切にしている。 ・人のために役に立つことを生きがいとしている。</p> <p>○高齢者に対して自分には何ができそうかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・足腰弱ってきているので、重いものをもっていたら声をかけて、手伝いをしてあげたい。 ・人との関わりを大切にしているから、なるべく声をかけて一緒に話をしたり、過ごしたりしたい。</p> </div> <p>○題材を貫く課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>私たち中学生は、地域の一員としてどんなことができるだろうか</p> </div>	<p>・どのようなことにどのくらい不自由さを感じているのか。</p> <p>・高齢者はどんな思いで生活しているか、考えさせる。</p> <p>《関心・意欲・態度》 高齢者の生活について関心を持ち、自分が高齢者になった時をイメージしている。</p>
<p>② 地域の高齢者との関わり方</p>	<p>ロールプレイングやゲストティーチャーの話聞く活動を通して、高齢者と関わり協働することの大切さに気づき、地域の一員として自分のできることを考え、高齢者との関わり方を工夫することができる。</p>	<p>○前回の振り返りを交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>中学生として高齢者とどのように関わるとよいだろう。</p> </div> <p>○地域の祭や清掃等、日常生活で高齢者と関わる場面を想定し、どのように関わったり声をかけたりするか、ロールプレイングのシナリオを考え、交流する。 ○地域の方から学ぶ(ゲストティーチャー) ○シナリオ作りの視点を確認する。 ○ゲストティーチャーから学んだことを基にして、先ほどの自分の考えに色ペンで修正したり書き加えたりする。 ○ゲストティーチャーより、ロールプレイングの評価をいただく。 ○本時のまとめをする。 ○本時の授業を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>私は、住生活で疑似体験をして高齢者の身体的特徴を知って、高齢者は動きにくく大変なので、いろんな活動はできるだけ私たちがやってあげればいいと思っていました。でも、今日のゲストティーチャーの話聞いて、高齢者に対する印象が変わりました。できないことも増えてくるだろうけど、全てやってあげるのではなく、一緒に協働してやっていくことが、高齢者の方にとっては嬉しいんだと気付くことができました。地域に生きる一員として、共に支え合っていけるよう、自分のできることを考えて、もっと関わりをもちたいと思いました。</p> </div>	<p>・高齢者の立場になって、毎日の生活について考えさせる。</p> <p>・事前のアンケートで、今までに高齢者とどのような場面で、どんな関わりをしてきたのかを把握しておく。</p> <p>・生徒の生活の中で実際に起こりそうな場面を設定しロールプレイングさせる。</p> <p>《工夫・創造》 高齢者の身体的な特徴と思いを理解し、地域の一員として自分たちにできることを考え、互いに支え合えるような関わり方を工夫している。</p>

<p style="text-align: center;">③ 家庭生活と高齢者</p>	<p>支える立場の一員として、家庭・地域・社会の中で自分にできることは何か考え、よりよい生活を送るには、自分と家族と地域の人々と協働することが大切であることを理解することができる。</p>	<p>○前時の確認をする。 ・高齢者などの地域の方と協働するという事は、一緒に活動するという事だとわかった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>家族や地域の人々と気持ちよく生活するためにはどうするとよいのだろうか。</p> </div> <p>○地域における中学生の立場を考える。 ・元気で活動的である。 ・力仕事もできる。 →今までは支えてもらってきた立場であるが、これからは支えていく立場となる。</p> <p>○具体的にどんなことができそうか考える。 ・地域の祭りの企画、手伝い。 ・ボランティア活動。(清掃、花作り、施設訪問…) ・災害時の共助。</p> <p>○中学生の時からボランティアをやっている人の思いや地域の人が中学生ボランティアに求めることを知る。 ・自分から地域の輪に飛び込んで楽しんでいけばいい。 ・自分にできることをまずはやってみることが大切だ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>支える立場の一員として、まずは自分にできることを考えて行動に移していくことが大切なんだと思いました。また、地域の一員として、地域に住むさまざまな人の立場になって考え、みんなでよりよい地域をつくっていききたいです。春の地域の祭りでは、自分にできることをやっていききたいです。</p> </div>	<p>・地域の人と共に生活をつくっていかうとする(共生)意欲を高める。</p> <p>・家庭や地域のために自分がやるべきことは何か、考えさせる。</p> <p>《知識・理解》 よりよい家庭生活を送るには、自分と家族や地域の人々とで協働することが大切であることを理解することができる。</p>
<p style="text-align: center;">④ 家族・地域の一員としての自分</p>	<p>3年間の学習を振り返り、家族・地域の一員として、家族や地域のために活動していこうという思いをもつことができる。</p>	<p>○3年間の家庭科の学習を振り返り自分の自立を確かめる。 ・調理実習で肉や魚の調理ができるようになって嬉しい。 ・幼児との触れ合い活動で幼児が喜ぶ関わり方ができるようになった。 ・衣、食、住、消費、家族のことを学習して、自分で自分の家庭生活をよりよくすることができるようになった。 ・家庭科の学習は物を作るだけでなく、様々な見方や考え方を学び、工夫することができるようになった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>3年間の学習を振り返り、家族・地域の一員としてどう生活していったらよいか考えよう。</p> </div> <p>○地域の一員として、これからどんなことができるかを考える。 ・高校生になるけれど、地域の人に自分からあいさつしたり行事に参加したりして関わりを増やしていきたい。 ・近所の小さい子やお年寄りと関わる時間を作っていきたい。 ・防災訓練はこれからも参加していきたい。</p> <p>○3年間の学習を振り返り、これからの自分の生き方について家庭分野の視点から考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まだまだ自分は家族や地域の人々に支えてもらって生きている。でも、3年間の学習を通して自分ができるようになったこともあるので、次は自分が支えて行く側になれるような生き方をしていきたいです。 また、地域の一員として、もっと社会のために活動していきたい。高校生活は忙しいけど、その中でも自分にできることを行っていきたいです。</p> </div>	<p>・学習後の振り返りのノートやワークシートなどを見直して、できるようになったことを実感させ自信をもたせる。</p> <p>・自分と地域活動のかかわりについて考える。</p> <p>《関心・意欲・態度》 3年間の学習を振り返り、家族・地域の一員として、これから家族や地域のために、自分にできることを考えている。</p>

